

第 **21** 号
2017.12

HARMONIA MAGAZINE

ハルモニア マガジン



ナガハ

可能性と 多様性と
そこから。

cocore
×
ハルモニア

増田裕介(ハルモニア)

須田亜紀さん(cocore代表)

可能性のはなし。



2013年に福祉とアートとまちづくりを推進するNPO「cocore(ココワ)」を設立、障がいのある人のアート作品をプロダクト化している。cocoreには「個々、和、輪、コア」などの意味も。

個人の特性を「障がい」ではなく「個性」として認識するとき、その個性は「アート」まで昇華するのかもしれない。福祉とアートの可能性や、障がい者の理想的な自立について。思わず手にとりたくなる魅力的な雑貨を生み出すcocoreさんを訪ね、お話を伺いました。

増田(以下、増) 魅力的な雑貨がたくさんあって楽しいお店ですね。そもそもどういうきっかけで活動を始めたのでしょうか？

須田(以下、須) 自分の子どもの障がいがあった時、とても不幸な気持ちでした。未来の可能性がキューッと狭まっていくように感じて。そんな時、福祉施設で作られたかわいいう雑貨がたくさん載っている本に偶然出会い、*授産品のイメージがガラリと変わりました。「こういう世界があるのか」と光が見えた気がしました。でも当時は、静岡にそういう物や店がなかったので「自分で作っちゃおう」と。そこで、アートの興味がありそうな周りの友達や美術の先生に声をかけてcocoreを立ち上げました。



増 「これあったらいいよね！」みたいな企画、創出の力はすごいですね。ハルモニアでも以前、酒屋さんとコラボして、日本酒のラベルを作ったことがあるんです。音楽やアートの分野で社

*授産品：障がいのある方々が就労訓練のためにつくる製品

会に出ていくのは健常者でも難しいことですが、こういうジャンルは事業所にとまらず、地域社会みんなでサポートしてあげれば広がっていくんじゃないでしょうか。

須 cocoreは福祉ではなく「街づくり」のNPOなんです。障がいのあるなし、ませこせの街を目指し、そのために雑貨を作っていくという位置づけです。雑貨を作るだけでなく、昨年は防災フェスタで、障がいがある人に必要な防災の知識を来場者にPRしたり、今は水族館なども「ラボをしています。アートって、そういうものを結びつける力があると思うんですよ。」

増 今、地域社会や企業が「何に貢献できるのか」ということに注目し始めている、これまで福祉事業所が担ってきたことが、地域全体に内包される動きになっていきます。その必要性や可能性を伝える際、アートは確かに一つのきっかけになりますね。商品作りに使う絵はどのように集めている

➡
のですか？

須 cocoreの絵は公募で集めています。県内で障がいのある方ならだれでも登録できるんですが、例えば企業のポスターなどで作品が使われれば利用料が発生し、売上げの一部が描いた人に渡るシステムです。事業所の仕事になじめなくて、何もしないまま過ごす子、在宅ワークしかできない子もいます。でも、絵が上手なら、在宅で仕事ができる自立ができる。そういうこともあり、在宅の子の絵も積極的に集めたいんです。



彼らのフィールドを広げるためにも、私たち福祉事業所が地域や企業に協力を得ることが、これからどんな必要になってくるでしょうかね。

須 お店や企業、人と人をつなげていければいいですね。魚が好きな男の子の絵がきっかけで、三保にある東海大学海洋科学博物館とコラボしてグッズを作ろうとしているんですが、それを通じて施設側に、自閉症の子の存在を知ってもらったり、展示に工夫してもらったりといった動きも出てきています。

増 福祉事業だけではなく、たくさんの方々が「地域を作っていく」「暮らしを作っていく」というところに焦点を当てたとき、同じ思いがある人とならぎを持てるのが、第一歩だと思っています。ハルモニアでは自動車ディーラーと協力したギフト用のお菓子づくりを試みています。そういう関係作りには力を入れているので、これからも、企業や地域の中でのパイプ役が果たせればいいですね。例えば、お菓子のラベルにアート作品を使わせて

アートには人と社会を結ぶチカラがある。

cocoreの プロダクトたち



- ▲バンダナ 1600円
- ▲タンブラー 1500円
- ▲Tシャツ
ユニセックス 3200円
レディス 3400円
キッズ 2500円
- ▲絆創膏ケース 350円
- ▲トートバッグ 2200円

うに絵を描いているのか、そういうエピソードやお母さんたちの思いも一緒に知っていただきたいんです。今、cocoreのメンバーは19人で、半分はお母さんです。チラシの裏に描いたような絵にお母さんたちがインスパイアされて、こんな物を作ったら面白いかな？というところから商品が生まれることが多いんです。そんな家族の思いも雑貨に込めているし、事業所の中だけでなく、お母さん発信の動きがcocoreから広がってほしい。「うちもできそう」と感化されて動き出したら、きっと周りも動き出す。そういう広がりがいいですね。

増 本人たちが自分の好きな絵で対価を得ながら、暮らしを楽しんでいく。作品はアートに興味がある人たちの暮らしを彩る。一本道から枝葉ができて実がなるように、そういうことがcocoreさんの活動を中心に静岡の土壌の中で育っていかば、可能性は無限に生まれるんじゃないでしょうか。

cocore(ココワ)
住所 / 静岡市清水区清水町8-6
cocore.art@gmail.com
営業日 / 月・木・日 / 10:00~15:00

みんなのお悩み



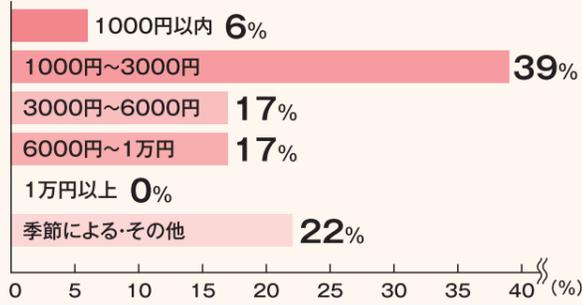
テーマ **障がい者とファッション**

【回答者の内訳】
 男 2人
 女 16人
 30代 — 2人
 50代 — 6人
 60代 — 9人
 70代 — 1人

食や住まいと同じく、生活の基本となる衣服。そもそも、障がいのあるパートナーやご家族がどういう基準で服を選んでいるのか？工夫している点、困っている点などなど、みんなの声聞いてみました！

※コメント欄カッコ内の「知的」「身体」「発達」などの言葉はパートナーやご家族の障がいの種類を表しています。

Q5 1カ月の衣服代は平均でどのくらい使っていますか？



安くてもいい服で上手に節約

みなさんファストファッション好きというだけあって、月々の出費は1万円以下に抑える人がほとんど。質素節約！食や余暇など、お金をかけるべきところは、ほかにもたくさんありますよね。

Q7 衣服を着用するために、何か工夫していることはありますか？



そのほか



Q9 障がい者がモデルのファッションショーに興味がありますか？

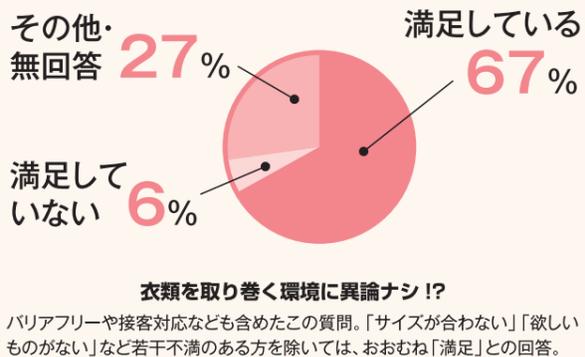
真の意味でファッションの多様性を目指して国内外で行われ話題になっている障がい者によるファッションショー。「興味がある」「参考にしたい」だけで34%と、意外にもファッション感度の高さが浮き出る結果に？



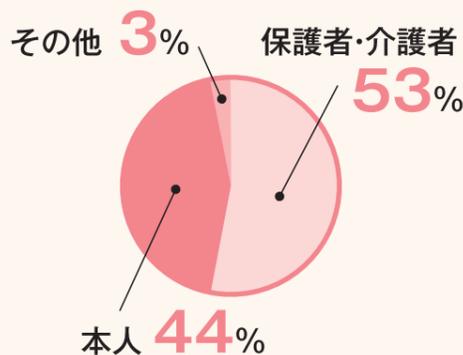
Q6 かばん、シューズ、アクセサリを身につけますか？



Q8 市販で販売されている衣服に満足していますか？



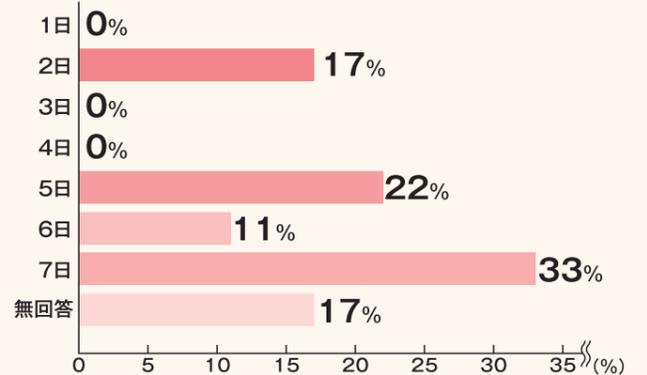
Q1 衣服はどなたが選んでいますか？



自分のオシャレは自分で楽しみたい

約半分は本人が服を選んでいるという結果に。「普段は私だが、気に入った物があれば本人が選ぶこともある」(61歳/女性/パート/知的・発達)という意見もありました。

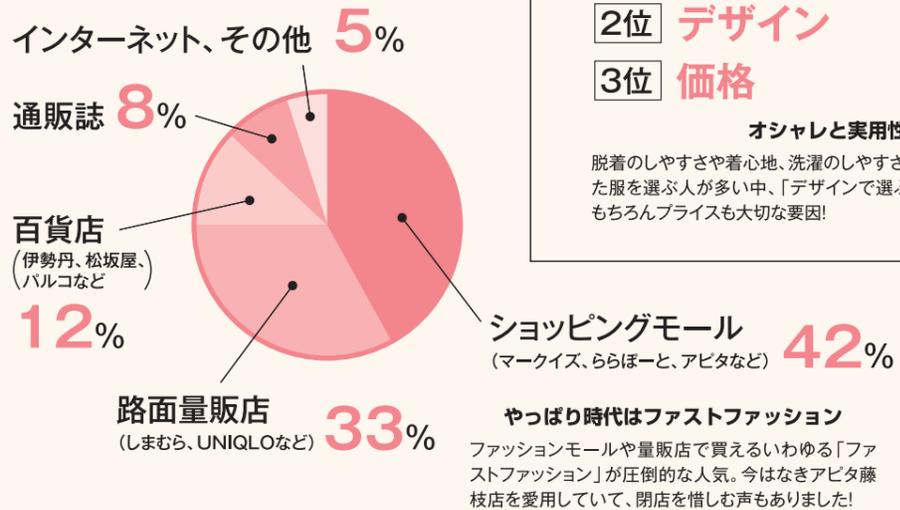
Q2 パートナーの方は平均で週に何日くらい外出されますか？



どうしてる？毎日の身だしなみ

仕事や、買い物、散歩などで5日~7日と、ほぼ毎日出掛けている人がほとんど。ちなみに7割くらいの人が「出掛ける用途によって服装を変えている」との結果も。

Q3 衣服は主にどこで購入しますか？



オシャレと実用性、どっちも大事!

脱着のしやすさや着心地、洗濯のしやすさなど、パートナーのライフスタイルに合った服を選ぶ人が多い中、「デザインで選ぶ」という人は女性の人が目立ちました。もちろんプライスも大切な要因!



やっぱり時代はファストファッション

ファッションモールや量販店で買えるいわゆる「ファストファッション」が圧倒的な人気。今はなきアビタ藤枝店を愛用していて、閉店を惜しむ声もありました!

面白くてタメになる映画、あります。
PICK UP MOVIE

藤枝生粋の映画ツウが、毎号テーマに沿った映画作品をご紹介します！
 今回は「可能性」をテーマにチョイスしていただきました。

今回のテーマ **可能性**



『ピニー/信じる男』DVD
 2017年公開 / アメリカ / 117分
 主演 / マイルズ・テラーほか 監督 / ベン・ヤング

交通事故で首を骨折したのに、
 現役に復帰した実在のプロボクサーの話を
 元にした映画。何が彼をそこまで突き動かしたのか、
 不可能と思われることを可能にしたのは何か、
 他人にどう思われようか自分の可能性を信じる、
 その生き様に感動します。



『ピリギャル』DVD
 2015年公開 / 日本 / 117分
 主演 / 有村架純 監督 / 土井裕泰

どのようにして偏差値30のギャルが
 偏差値70の慶応大学に現役合格したのか？
 受験に限らず自分の可能性を信じ、努力する、
 または、支える側の立場であっても、信じ支える
 というのは大事だと感じさせられる作品です。
 本館での上映中は、親子で観に来られた
 お客様も多かったです。



『超高速！参勤交代』DVD
 2014年公開 / 日本 / 119分
 主演 / 佐々木蔵之介 監督 / 本木克英

小藩の藩主が幕府から理不尽な参勤を
 命じられる設定なのですが、
 ちょっとバカバカしさを感じる楽しい作品です。
 最初から無理だと思うよりは、思考錯誤して、
 取り組むことが大切だし、何事も、そのほうが結果に
 つながるのではないのでしょうか。

藤枝シネ・プレーゴ支配人
水元信行さん Nobuyuki Mizumoto

都市開発が盛んなJR藤枝駅前という好立地
 にあるシネコンの支配人。新作・名作はもち
 ろん、知る人ぞ知る迷作(?)まで、幾多の
 作品を観てきた経験に基づき、独特の切り口
 で新しい映画の楽しみ方を案内します。



今回の会社

株式会社 村上開明堂

明治15年に静岡市で創業。自動車用バックミラーの開発・設計・製造・販売を自社で一貫して行い、
 この分野で国内シェアNo.1。世界屈指の品質で国内外の自動車メーカーから高い信頼を得ている。



新日邦の太陽光発電施設(焼津市中島)で作業をする利用者のみならず



敷設前



敷設後

平なVOICE!

profile
 株式会社 村上開明堂・新規事業企画課
 かむらあきむら
河村彰彦さん
 利用者のみなさんは真面目で前向き。安全
 についての意識の高さに驚きました。同じ汗
 をかき、1つの形のあるものを作り上げる事
 が出来た達成感と喜びは私自身、貴重な体
 験となりました。ありがとうございました!



遮光性が高く防草効果
 のあるバググラスは脱臭
 や水質浄化など、今後さ
 まざまな用途にも期待が
 かかるサイクル材。軽く
 て運びやすいのもメリット!



社会を**平**にする会社

世のため人のため。さまざまなフィールドで社会貢献度の高い
 取り組みをしている企業や団体をピックアップするコーナー。

**テクノロジーと就労支援が結びついた
 みんなに優しいプロジェクト**

地面に敷くことで防草効果に
 期待できる「バググラス」は、
 バックミラー製造過程で排出さ
 れる高品質ガラス端材(廃材)
 を使用した、環境に優しいリサ
 イクル材。2017年3月初旬
 7月下旬の約5カ月間、新日
 邦(藤枝市)が所有する焼津の
 太陽光発電施設の敷地内で、こ
 の素材の実用化に向けた敷設工
 事が行われ、ハルモテからは利
 用者・職員の延べ967人が参
 加。1ヘクタールに及ぶ広大な
 施設内で草刈りやバググラスの
 敷き詰め作業を行い、雑草が生
 い茂る施設内が整然とした空間
 に様変わりした。プロジェクト
 を担当した河村さんは、利用者
 を受け入れるにあたって、マニ
 アルの見える化、署名による理
 解度の深化といった工夫、まめな
 健康チェックなどの配慮を心が
 け、期間中は無事故・無災害、笑
 顔の絶えない現場となったそ
 う。企業・環境・利用者のすべ
 てが平になれるこのようなプロ
 ジェクトの輪が、ますます広がっ
 ていくことだろう。



「志太の伝統(=トラッド)を温め
 新しきを知る」

シダトラ

Vol.5 渡邊商店

コワモテか、ハンサムか? 迫力
 の鬼瓦がお出迎えてくれた
 渡邊商店は、卓越した技術と美
 的センスを併せ持つ、すごい
 瓦屋さんでした!

ニッポンの屋根を粹に飾る、「いぶし銀」の技

燻化(くんか)と呼ばれる製
 法により渋い銀色の光沢を放
 つ「いぶし瓦」は優れた耐水性
 や耐火性、100年以上も使
 える耐久性で、日本の屋根を
 守ってきた。
 巴川の舟運で栄えていた旧
 清水市は江戸のころからいぶ
 し瓦づくりが盛んで、かつては
 全国有数の産地だった。そんな
 街で瓦を生業としていた先代
 が、昭和49年に藤枝に移転し
 て構えたのが「渡邊商店」。以
 来、先代の意思を継いだ渡邊隆
 之さん(現代表)が、いぶし瓦

の技と伝統を守り続けている。
 渡邊商店では寺社仏閣や文
 化財を中心に、屋根工事のほ
 か、鬼瓦を製造。獣面や家紋、
 火除けなど、瓦の中でもひと
 きわ装飾性に富み、迫力ある
 ビジュアルで棟を飾る鬼瓦は
 「鬼板師(おにいたし)」と呼ば
 れる専門の職人によって手掛
 けられる。「例えば一枚の平面
 図から鬼を起す時、同じ線
 でもそこを彫るのか盛るのか
 は鬼板師の感覚だ。人の
 手で作るものですから、ひとつ
 ひとつ表情が違ったほうが面

白いですよね」そう語るのは、
 現役鬼板師の原川さん。持ち
 前のセンスと先代と先代の兄
 (鬼板師)から叩き込まれた職
 人魂を胸に、日々精進を続け
 ている。
 屋根に瓦を取り付ける葺師
 の技もまた経験値がモノをい
 う職人の世界だ。渡邊商店には
 多くの技術者が所属。瓦を知
 り尽くしたプロ集団が、今日も
 また屋根に登る。思いを込めら
 れて焼かれた瓦一枚一枚が、
 100年、200年と空を仰
 ぎ見続けるために。



b.



a.



d.



c.



f.



e.

a. 絵師でもあった先代が描き残した鬼瓦の下絵。渡邊
 商店の貴重な財産 b. 型紙や粘土の成形に使う石膏
 の型。大きな作品は型を用いず直接粘土を盛りた
 り削ったりする c. 素材の粘土を練っているところ。かつて
 は地産のものを使用していたが、現在は粘りが強く工
 に適した奈良産を使用 d. 瓦の表面を引き締め光沢を
 出す「磨き」という作業。原川さんは先代から譲り受けた
 鉄のヘラを使用している e. 磨き上げた鬼瓦を自然乾
 燥しているところ。小さいもので2~3週間、大きい物で
 1か月ほどかかる f. 瓦を焼くガス窯。1100°Cの高温
 で24時間ほど焼いたのち、窯内で不完全燃焼を起こし
 て瓦にススを吸着(燻化)させる。窯の中はススだらけ!

鬼板師 原川圭介さん
 陶芸教室もやっていますので是非!



information
株式会社 渡邊商店
 住所 藤枝市 平島142
 TEL 054-643-1888



The 藤枝 リズム

Vol. 5
The Fujieda Dream

657.6	67.8
244.2	38.1
1424	19.9
316.6	37.9
1424	219.2
388.6	20.4
267.1	161.3
	11399

約30度の傾斜を、猛スピードで走り抜ける自転車競技「競輪」。
スピードだけでなく、選手同士の駆け引きなど、
さまざまなファクターが結果につながるレースは、知れば知るほど面白さを感じられる。
今回登場いただくのは、静岡競輪をホームバンクに活躍する柴田竜史選手。
取材当日は雨模様ながら、練習の様子やレースにかける熱い思いを伺うことができました。



夢の舞台で勝つために

地元・静岡を沸かせる選手になるために もつともつと強くなりたい

[競輪選手]

柴田 竜史

SHIBATA
RYUJI

——競輪とはいったいどんな形でお台目したか？
子どもの頃から水泳などのスポーツをやっていた、中学生の頃からいかに何かスポーツで仕事ができたらな」と漠然と思っていた。そんな時、父親からGPレーサー年間チャンピオンを決める最高位のレースの新聞記事を見せてもらい、憧れを持ちました。当時から将来の進路を聞かれると「競輪選手」と答えていましたね。高校では体を作するために陸上部に入り、高校卒業後、競輪学校に入学しました。

——競輪学校に入るのも、入学後もかなり厳しいと聞きました。
高校3年の秋の初受験は惨敗でした。200mと1000mの実走テストがあるんですが、初めての時はその内容もどれくらいのタイムを出せばいいかも知らなかったんです。身体能力には自信があったけれど、当然それだけではだめで、高校卒業後、プロの選手について練習し、3度目のチャレンジでようやく合格しました。

入学後は1年間の寮生活。厳しい規律とハードな訓練で自転車漬けの日々を過ごしました。辛いこともありましたが、同期の仲間たちとみんな頑張っていたという前向きな雰囲気でしたね。
学校では、競輪選手になるための国家試験を目指します。タイムや身体能力、選手に向いているか適性を見る試験もあって、それらに合格すれば晴れて卒業。選手として表舞台に立つことができます。

——競輪選手として活躍するようになって、感じたことは何ですか？ また、いつも心がけていることを教えてください。
選手になる前は、単純に「速い人が強い」と考えていました。でも実際は、勝負どころで選手間の駆け引きがあったり、どう動けば勝てるかを短時間で考えながら走りなければならぬ。「速い人でも負けること

があるそんな奥深さを、選手になってあらためて感じましたね。
モチベーションを常に維持し、自分はどのバンクが一番強い」と思いながら走りまわります。その結果、勝利できた時の喜びが、何よりもやりがいになりますね。ケガでレースに出られないこともあります。ケガでレース時は、同期や先輩の活躍を見ながら、「早く自分も」とリハビリに徹します。

——初心者にはなかなか難しい競輪ですが、どんな見方をすればいいでしょうか？
競輪は1レース9人で走りますが、毎回、全国の各バンクから3人ずつ出場します。静岡は神奈川、千葉と同じ「南関東」。他にも北日本、中部、近畿などに分かれまわります。よく見てみると、いつも静岡の選手の後ろに神奈川の選手がいたり、千葉の選手の後ろに静岡の選手がいたりするんですが、それは同じ地区で協力し合って走っているから。そうした走り方を「ライン」といいます。同じラインの人たちとは勝つために作戦を考えたり情報交換したりするので、その関係性が分かれば面白いと思います。

なので、まずは静岡の選手を中心に応援してみる。そして「あの人たちいつも一緒に走っているけれどなぜ？」と気付けば、ラインの仕組みや、駆け引きの面白さが分かってくるはずです。



——全国でレースが開催されますが、静岡開催のレースはやはり気合いが入りますか？
地元で走るときは気合いも入るし、普段よりも練習量を多めにしっかりと調整をして、レースに臨みます。勝つとやはりうれしんです。あと、ロードの練習は瀬戸谷の方を登ったり、大井川から150号線で御前崎まで走ったり地元が中心です。やっぱり、慣れ親しんだ道はいいですね。

——パラサイクリングなど障がいのあるアスリートについて、どう思われますか？
勇気づけられる存在ですね。僕たち以上に、精神力が強いんじゃないかと思えます。2020年には伊豆でパラリンピックもありますし、そちらも頑張りたい。

——今後の目標を教えてください。
静岡は、73期の渡邊晴智選手、74期の新田康仁という選手が引っ張っていて、グレードレースでタイトルを取るなど活躍しています。僕もそんな先輩たちと肩を並べられる選手になりたい。まずは、グレードレースに出場するところからですね。それと、競輪場は最初から車券を買わなくても、走っている選手のカッコイイ姿を眺めるだけでも楽しい場所。ぜひ一度お越しください！

しばた・りゅうじ

1988年生まれ藤枝市出身。西益津中学校、藤枝西高校卒。競輪学校卒業後、2009年7月11日にホームバンクの静岡競輪でデビュー。2011年に平塚競輪で新人レーサー日本一を決めるヤンググランプリ優勝。現在、A級1班。若手ながら第一線で活躍し、グレードレース出場を虎視眈々と狙う。



静岡けいりんに行こう！



静岡競輪開設65周年記念(GⅢ)開催
平成30年2月17日(土)～20日(火)

土・日・祝日限定で元競輪選手がルールやポイントをやさしく解説してくれるコーナーもあります。気軽にお越しください！

静岡けいりん 静岡市駿河区小鹿2-9-1 ☎054-283-3200

KEIRINグランプリ2018開催決定！ 平成30年12月28日(金)～30日(日)

競輪の収益金は
福祉や教育などに
役立てられています



ご支援・ご協力ありがとうございます

(平成29年8月1日～平成29年11月1日)

敬称略・順不同

古紙回収

島田ほうらいSS

企業サポーター 個人サポーター 合計239ヶ所

花ぼうろ

藤枝市 焼津市 島田市 町内会様 ほか

合計111ヶ所

パン販売

島田市役所

藤枝特別支援学校

平成記念病院

まんさいかん

学校法人藤枝学園

藤枝市民大洲温水プール

藤枝明誠高等学校

合計6ヶ所

施設外就労・施設外支援

(株)ジャレード

(株)静環検査センター

(株)ソニーDADCジャパン

(医)はた医院

殿村食品(株)

(株)村上開明堂

レック(株)

合計7ヶ所

寄付

青島克郎様

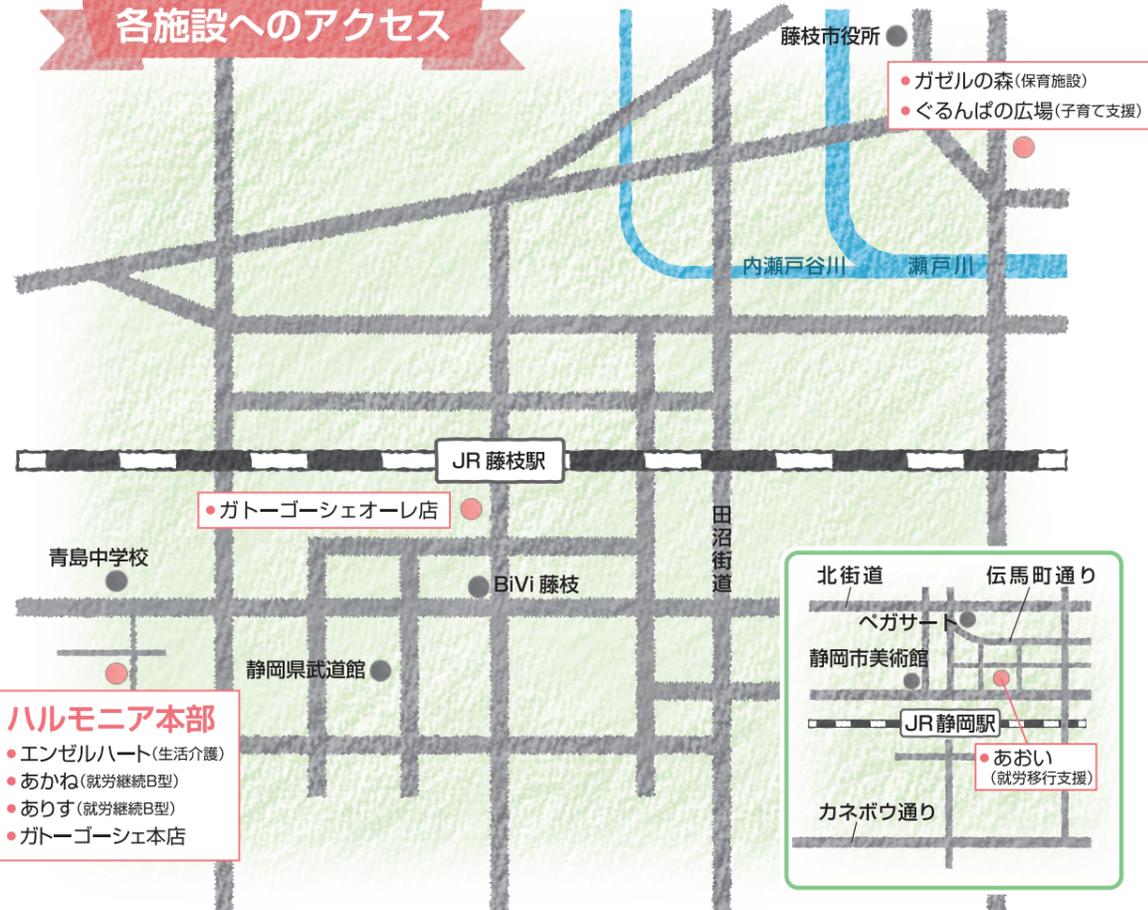
赤堀信夫様

静岡三菱自動車販売(株)

苦情解決委員会から

平成28年度の苦情はありませんでした。第三者委員をお招きして、当委員会とリスクマネジメント委員会、衛生委員会と年2回情報共有しました。以上報告いたします。

各施設へのアクセス



ハルモニア本部

- エンゼルハート(生活介護)
- あかね(就労継続B型)
- ありす(就労継続B型)
- ガトーゴシェ本店

ハルモニアの
地域交流センターって
ご存知ですか？



「地域の皆さまとともに」

近所の農家の皆さまから朝採れ野菜を持ち寄っていただき、ハルモニア本部の敷地内にて朝市を開催しました。子供からお年寄りまで世代を越えて様々な方が集い、気持ちの良い朝の日差しを浴びながら笑顔でお買い物や会話を楽しんでいました。



お客様からの朝市の反響

- 近所のスーパーがなくなってしまい、買い物に困っていたので助かります。
- 地域の情報が交換できる有意義な時間を過ごしました。
- 生産者として余った野菜が有効活用できて嬉しいです。
- 家庭内のリサイクルできる物も出せたらうれしいな。



地域に住まう誰もが安心して暮らし、助け合える社会の実現に向けて必要な事は何か？
少子高齢化、地域コミュニティ内の関わり合いの希薄化など現代社会における課題に向き合い、改善策を実行することが今求められています。
社会福祉法人ハルモニアでは、地域コミュニティ内でのコミュニケーションを生むことを目的とし

た朝市や、藤枝市青島地区の自治会、町内会の皆さまに、7回にわたり法人の取り組みを説明し、地域の安心について共に考えるきっかけ作りなどを具体的に進めています。「そもそも誰もが安心して暮らす地域ってなに？」を皆さんも一緒に考えてみませんか？

誰もが安心して暮らせる地域を作る
地域課題の抽出から実行へ

～地域交流センター7年間の歩みと新たな取組み～

地域内での新たなコミュニケーションを生み出す担い手として、「地域交流センター」は平成23年4月にハルモニアの中から立ち上がりました。当法人の理念である「誰もがバリアフリーな生活を営むための環境作り」を目指してこれまで様々な広報啓発活動を行ってきました。

● ウェルフェア塾

体験プログラムを通してお互いを知り合う行事を年間4回開催。延べ500名のハルモニアご利用者と地域の方々が参加しています。



● 地域行事の参加

企画段階からお祭りに参加し、地域の皆さまと触れ合うきっかけを推進。企業様さまからご招待いただき、イベント等へ参加しています。



この他にも、社員研修や福祉講座をはじめ、地域の方々にご参加を頂き、今後の地域のあり方について考える会議を月に1回開催しています。



社会福祉法人ハルモニア
地域交流センター長

いわもと しろ
岩本利栄

地域活性化事業や雇用の創出など、地域で生活する皆さまの暮らしが豊かになる様に具体的に行動していきます。朝市などの地域住民どうしに関わるきっかけは現代社会において必ず必要になると考えます。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いします。

藤枝市自治会連合会 会長
すずき えいご
鈴木英吾様

この地域交流センターによる活性化事業は地域にとって必要な素晴らしい取り組みだと思います。特に朝市等は、地域住民の皆さまが気軽に集まって世間話をする事で繋がりの希薄化といった地域課題の解消だけでなく、農業の新たな価値の創出にも期待を寄せています。



ハルモニアの決算詳細、事業内容等は
ホームページで公開しています。
是非、ハルモニアホームページへお越しください。



<http://www.harmonia-fujieda.com>

HARMONIA MAGAZINE 表紙こぼれ話



「みんなに等しくあって、決してなくなるもの。」

なぞなぞのように、たくさん答えがありそうですが、中でも今回のハルモニアマガジンでは「可能性」と「多様性」をテーマにしました。アート・暮らし・仕事・文化・スポーツ、様々な分野で未来や目標に向け挑戦を続ける人々について追う中で、私たちもたくさんの勇気をいただきました。こうした連鎖がきっと新たなチャレンジを生み、多様性を象徴していく事にも繋がるのでしょう。数多の色で構成された表紙の絵は、cocoreが作成したバンダナの絵柄で、原画は細澤奈奈さんのもの。その“無限”をまさに表現しています！